

第15回松本市西部地域公共交通協議会次第

日 時 平成22年12月22日(水)
午前10時30分から
場 所 議員協議会室

1 開 会

2 あいさつ

3 会議事項

- | | | |
|---------------------------------|----|---|
| (1) 第14回松本市西部地域公共交通協議会の開催結果について | 資料 | 1 |
| (2) 西部地域コミュニティバスの利用状況について | 資料 | 2 |
| (3) 第5回住民意見交換会の開催結果について | 資料 | 3 |
| (4) 西部地域公共交通総合連携計画変更(案)について | 資料 | 4 |
| (5) その他 | | |

4 その他

5 閉 会

第14回松本市西部地域公共交通協議会の開催結果について

1 日時

平成22年11月1日(月)

14時30分～16時00分

2 場所

松本市役所東庁舎3階 議員協議会室

3 会議事項

- (1) 第13回協議会の開催結果について(原案どおり承認)
- (2) 西部地域コミュニティバスの利用状況について(原案どおり承認)
- (3) 安曇・奈川・波田地区住民の移動実態調査の結果及び今後の進め方について(原案どおり承認)
- (4) 第5回住民意見交換会の実施について(原案どおり承認)
- (5) 留め置きアンケート調査等の実施について(原案どおり承認)
- (6) 各地区における利用促進の取組み例について(原案どおり承認)
- (7) その他
時刻表への協賛店追加とポイントカード特典サービスについて

4 会議で出された主な意見等

項目	意見等
安曇・奈川・波田地区住民の移動実態調査の結果及び今後の進め方について	<p>○今回の調査結果をどのような形で住民に公表するのか。 ⇒住民意見交換会などで公表する予定。</p> <p>○波田地区の「せせらぎの湯」への移動量が見えないが、高齢者からは移動要望は多い。 ⇒日常生活で一番重要な移動という設問の中で、今回はこのような結果となったが、要望としてはあるかもしれないので、住民意見交換会などで確認したい。</p>

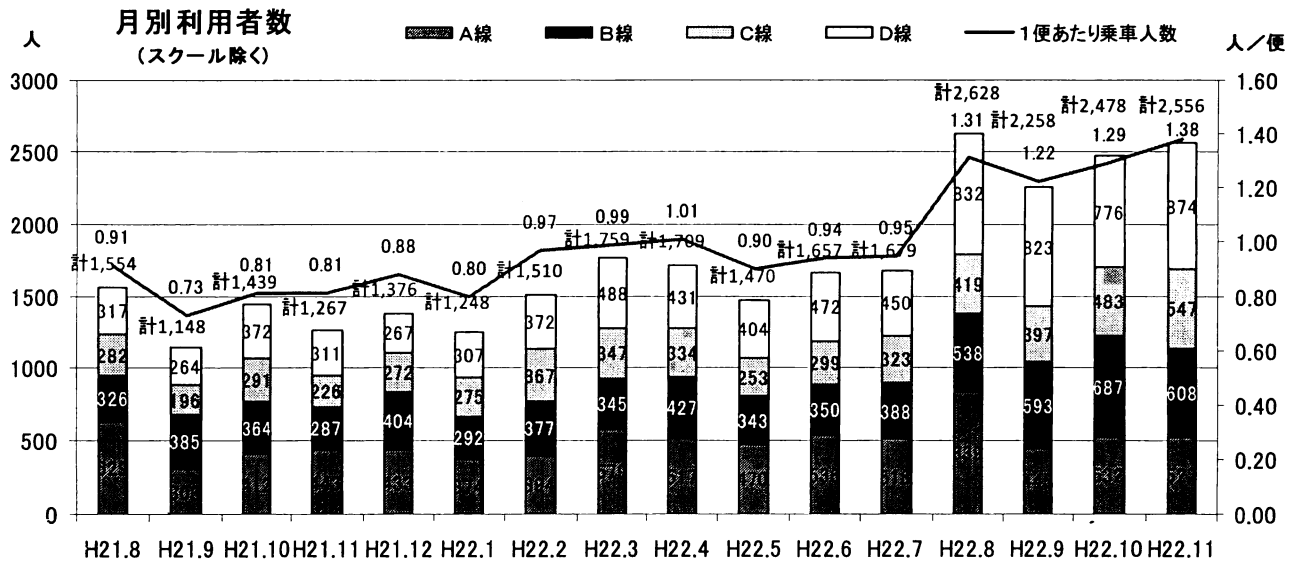
西部地域コミュニティバスの利用状況について

1 平成22年8月2日～11月30日の利用状況

ルート名	島内・新村線A線	新村・平田線B線	梓川線C線	新村・村井線D線	計	
運行便数	19便/日(20)	24便/日(18)	15便/日(14)	19便/日(16)	77便/日(68)	
利用者数	8月	839人(629)	538人(326)	419人(282) <700>	832人(317)	2,628人(1,554) <2,909>
	9月	445人(303)	593人(385)	397人(196) <969>	823人(264)	2,258人(1,148) <2,830>
	10月	532人(412)	687人(364)	483人(291) <1,045>	776人(372)	2,478人(1,439) <3,040>
	11月	527人(443)	608人(287)	547人(226) <1,153>	874人(311)	2,556人(1,439) <3,162>
	合計	2,343人(1,787)	2,426人(1,362)	1,846人(995) <3,867>	3,305人(1,264)	9,920人(5,408) <11,941>
1便当り利用者数	8月	1.70人(1.26)	0.86人(0.72)	1.07人(0.81) <1.79>	1.68人(0.79)	1.31人(0.91) <1.45>
	9月	0.98人(0.66)	1.03人(0.93)	1.10人(0.61) <2.69>	1.80人(0.72)	1.22人(0.73) <1.53>
	10月	1.12人(0.79)	1.15人(0.78)	1.29人(0.80) <2.79>	1.63人(0.89)	1.29人(0.81) <1.58>
	11月	1.16人(0.96)	1.06人(0.69)	1.52人(0.70) <3.20>	1.92人(0.85)	1.38人(0.81) <1.71>
	合計	1.25人(0.92)	1.02人(0.78)	1.24人(0.73) <2.60>	1.76人(0.81)	1.30人(0.82) <1.57>

()内の数字は、昨年の実証運行の実績 < >内の数字は、スクール利用を入れた数字

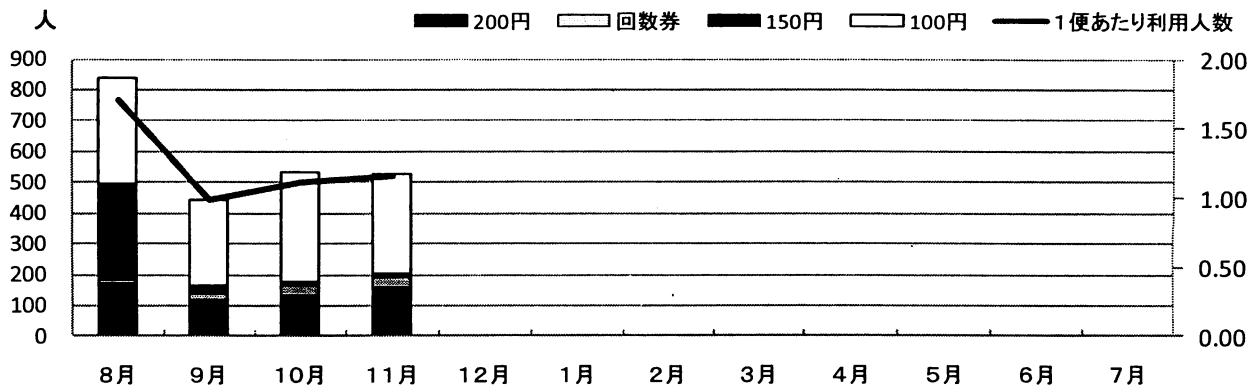
2 利用の推移



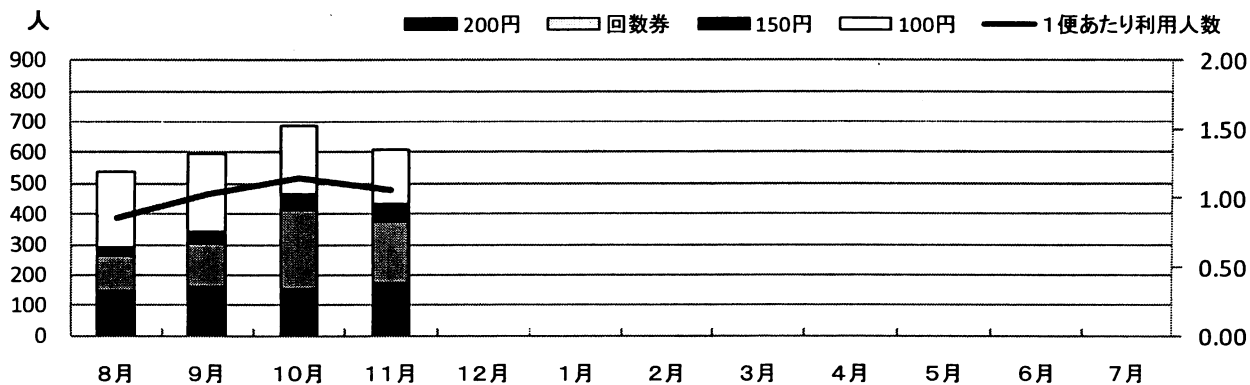
3 新たなサービスの実績

	8月	9月	10月	11月	合計	
回数券販売数	45	35	54	45	179	
ポイントカード交換枚数	5	10	12	27	54	
内訳	とをしや薬局	5	9	12	17	43
	ラーラ松本	0	1	0	0	1
	梓水苑	0	0	0	10	10

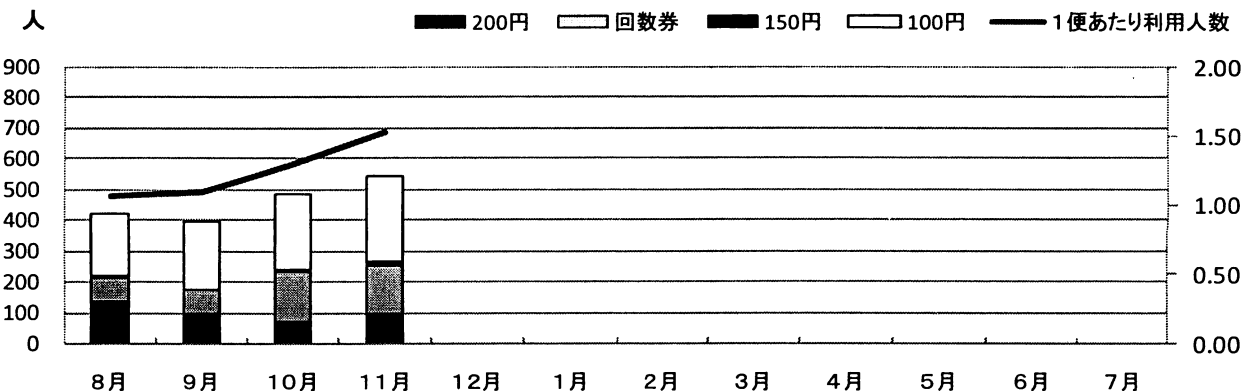
島内・新村線A線 月別利用者数



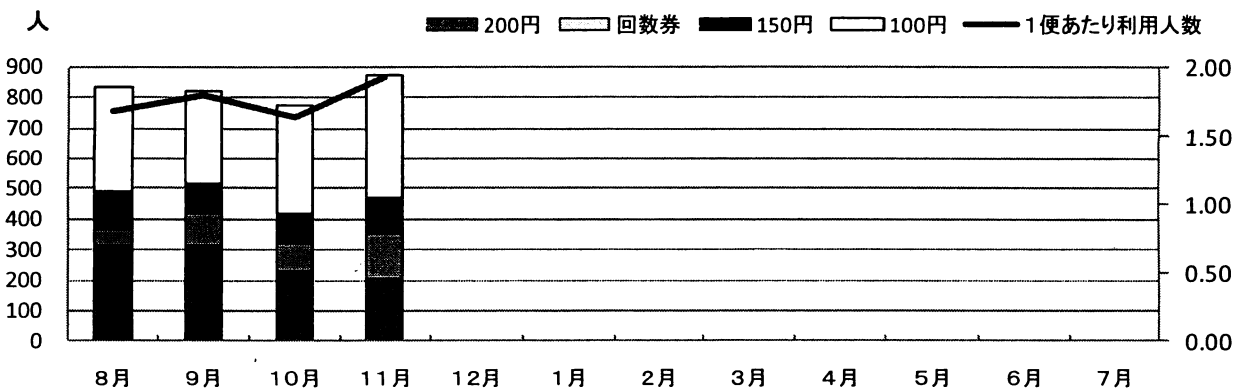
新村・平田線B線 月別利用者数

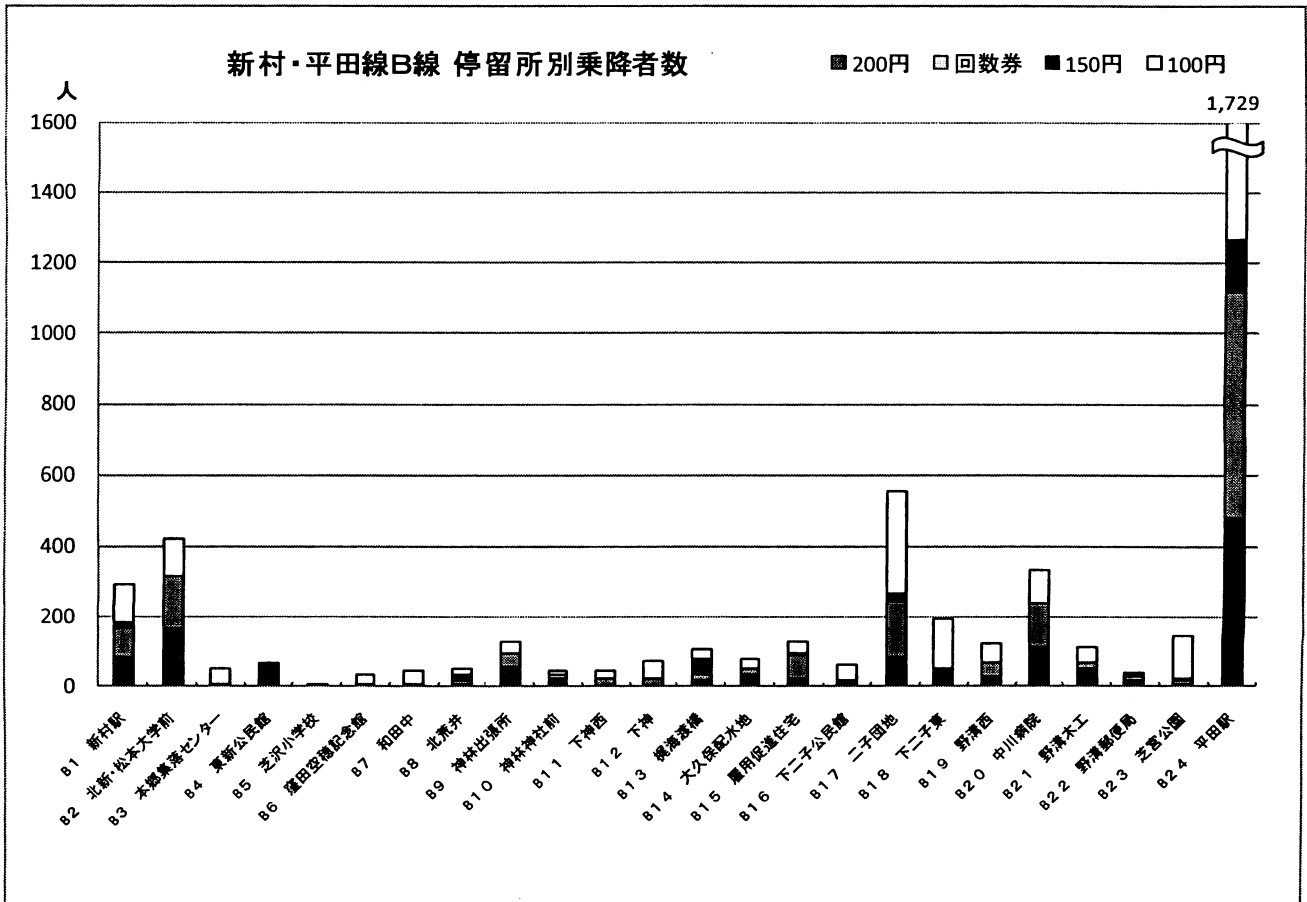
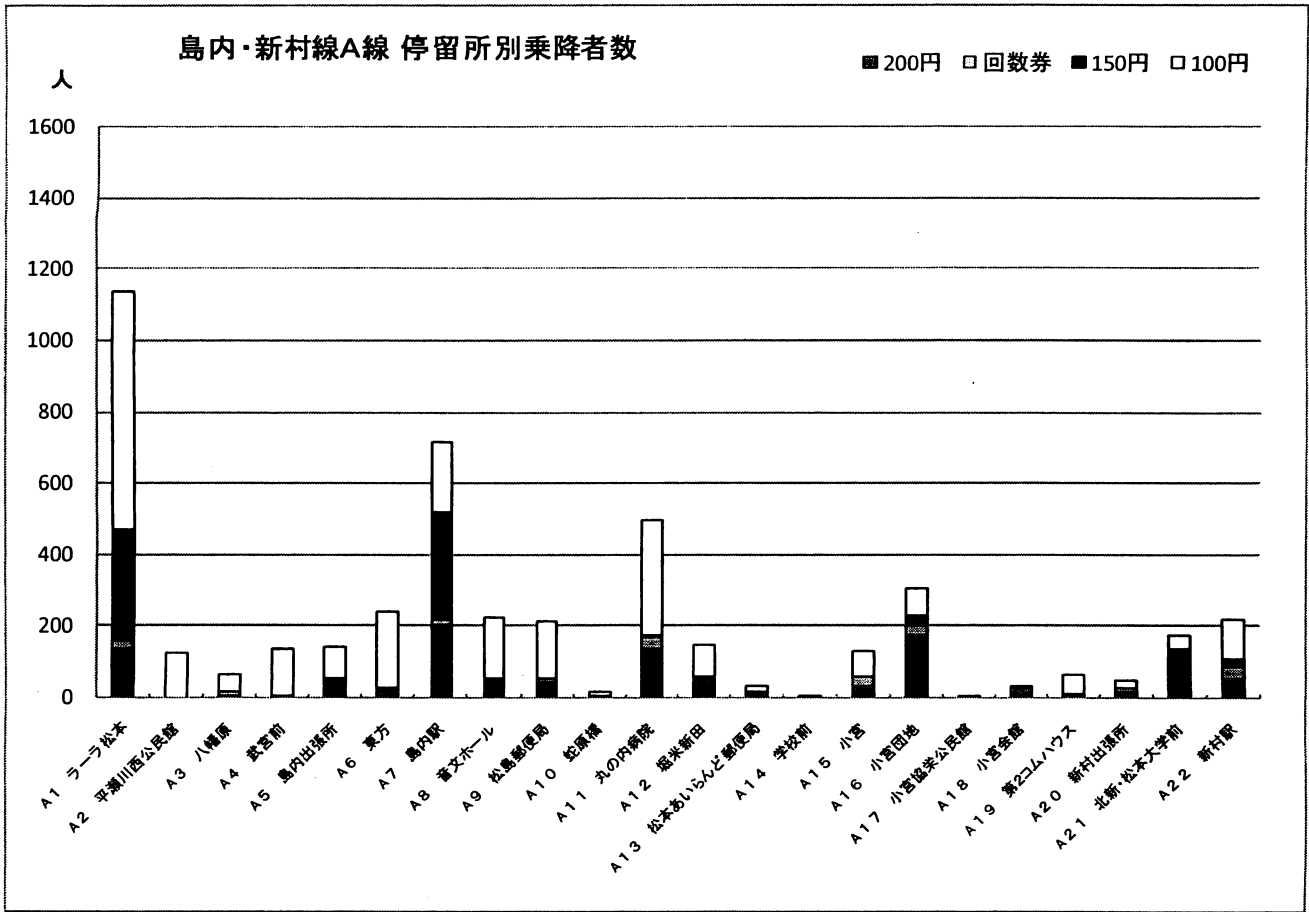


梓川線C線 月別利用者数(スクールを除く)



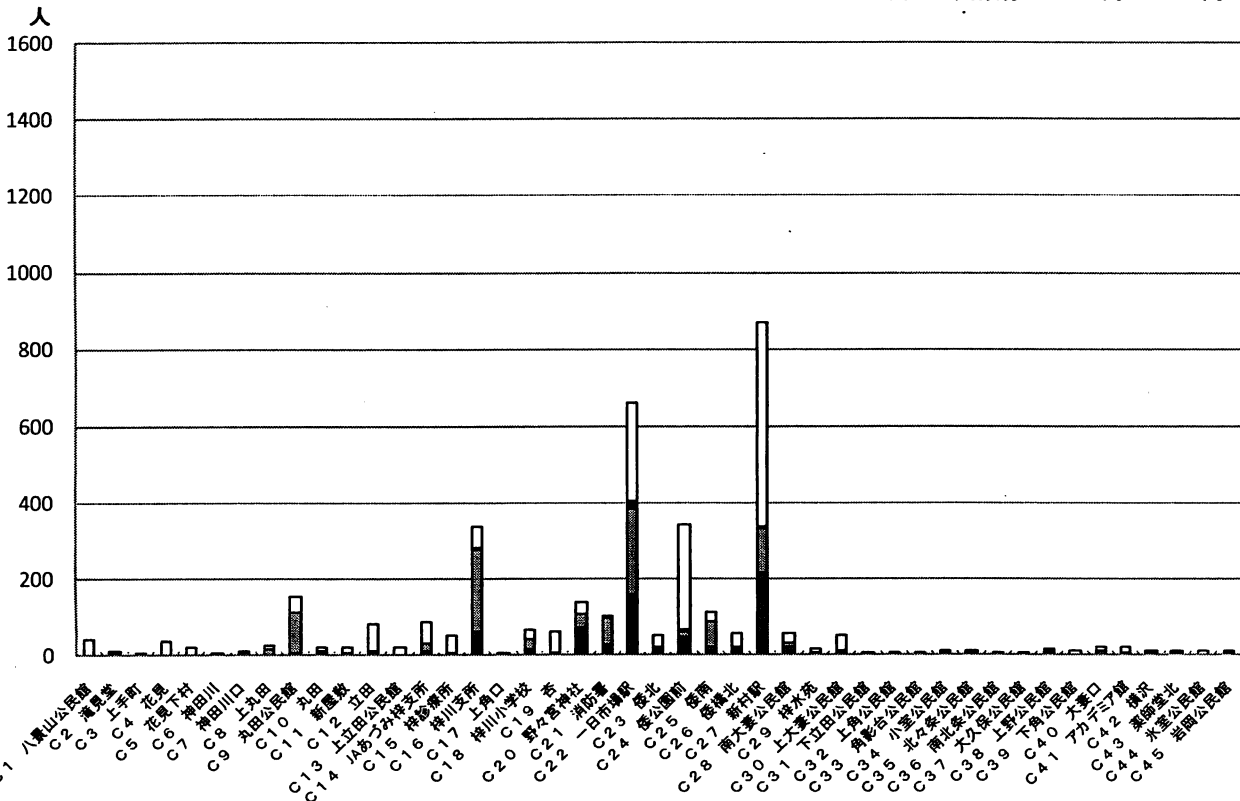
新村・村井線D線 月別利用者数





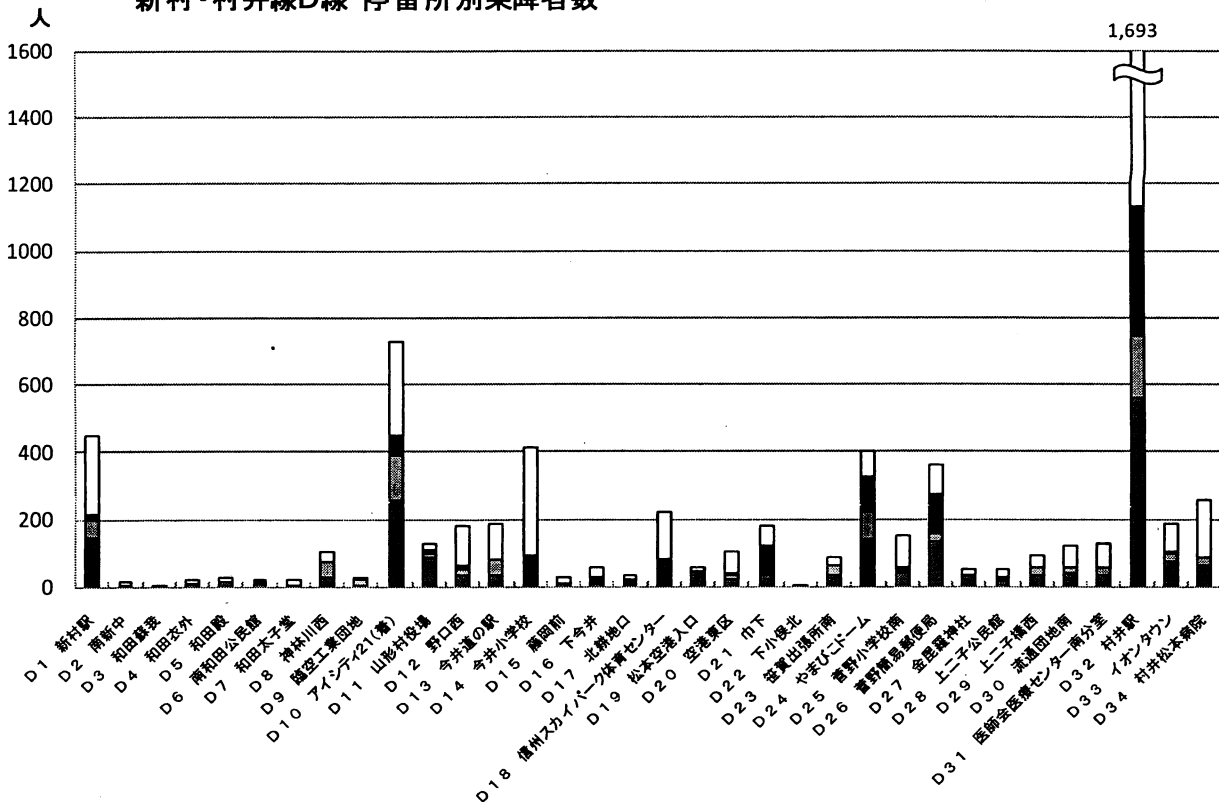
梓川線C線 停留所別乗降者数(スクールを除く)

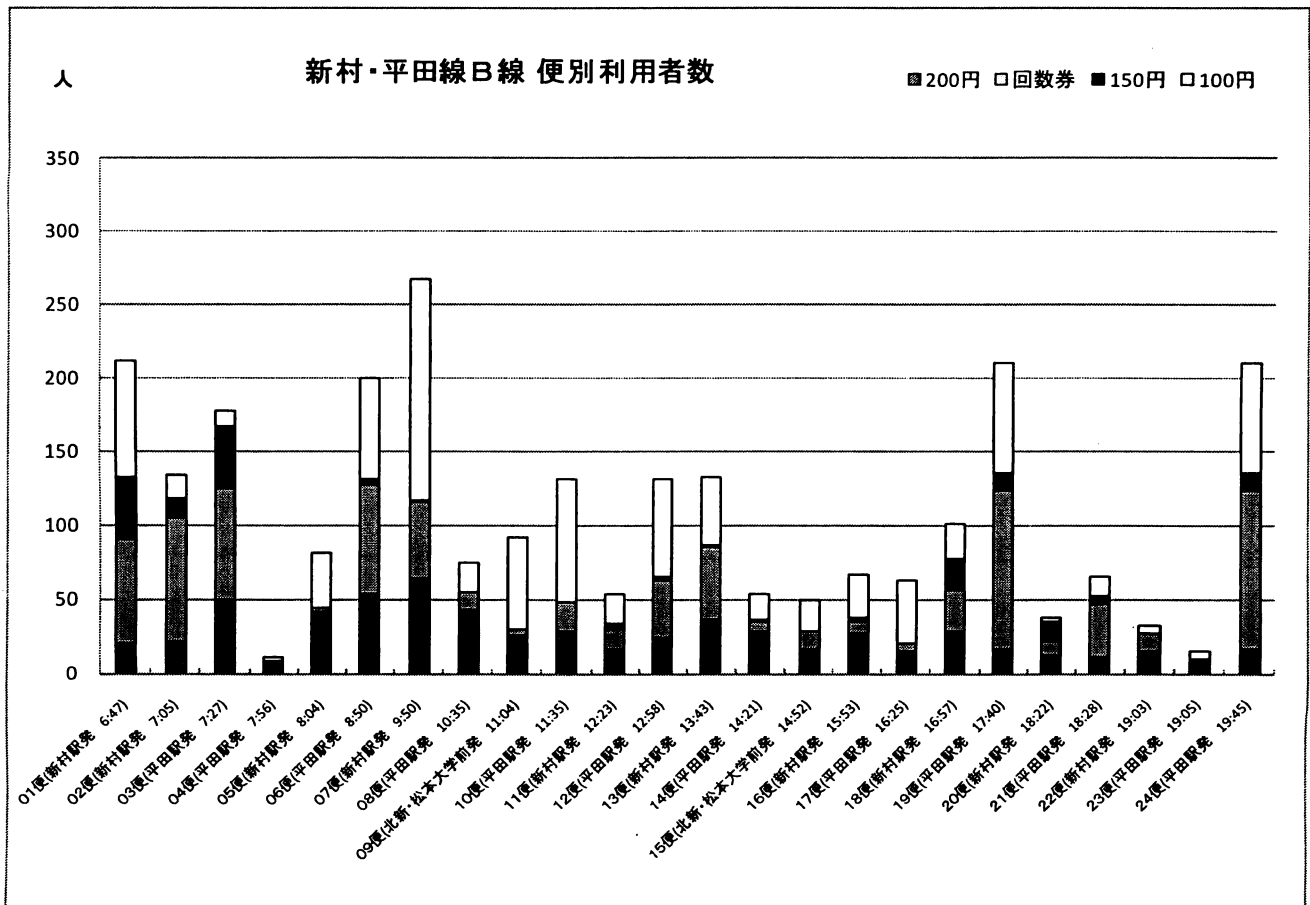
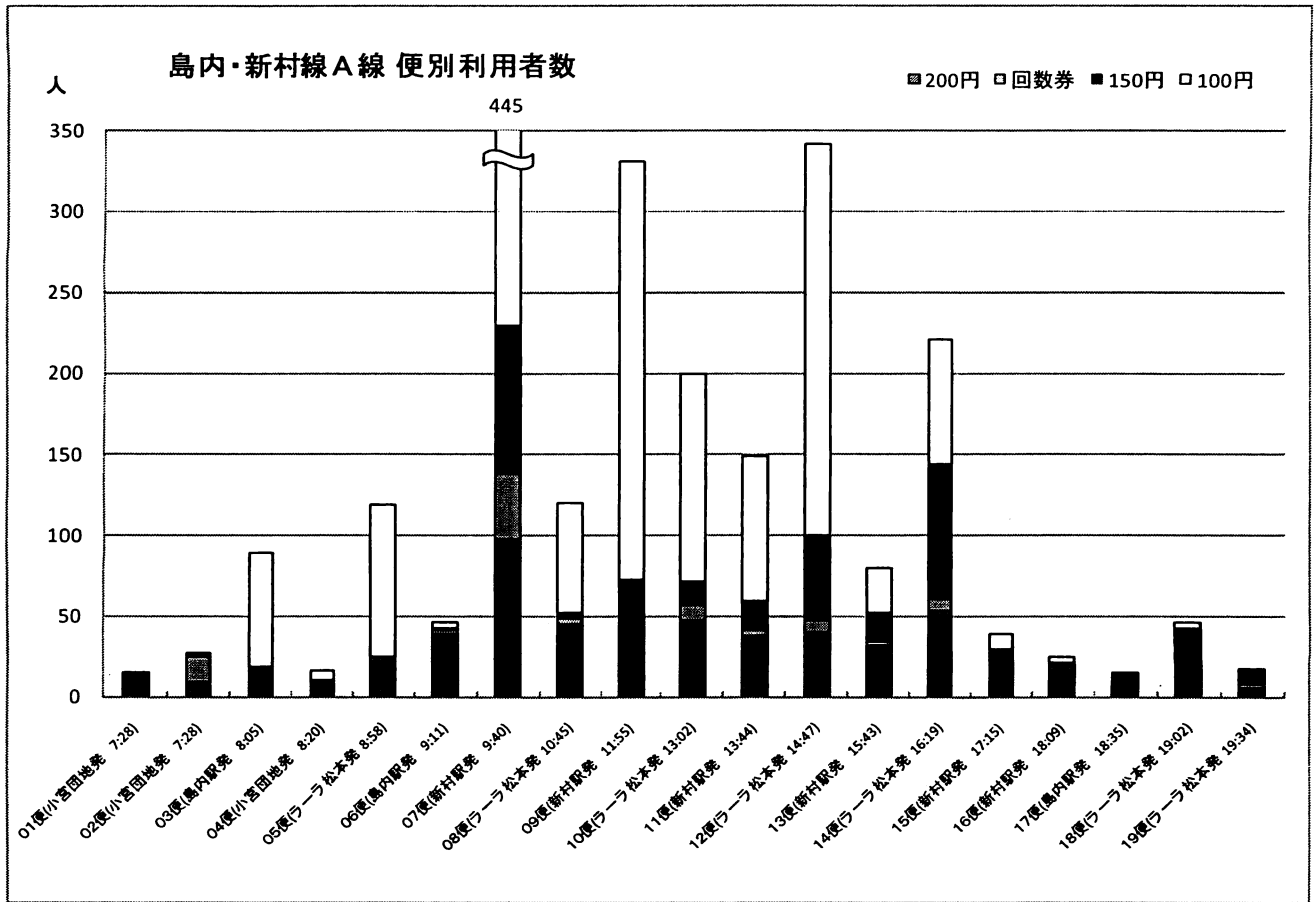
■ 200円 □回数券 ■ 150円 □ 100円



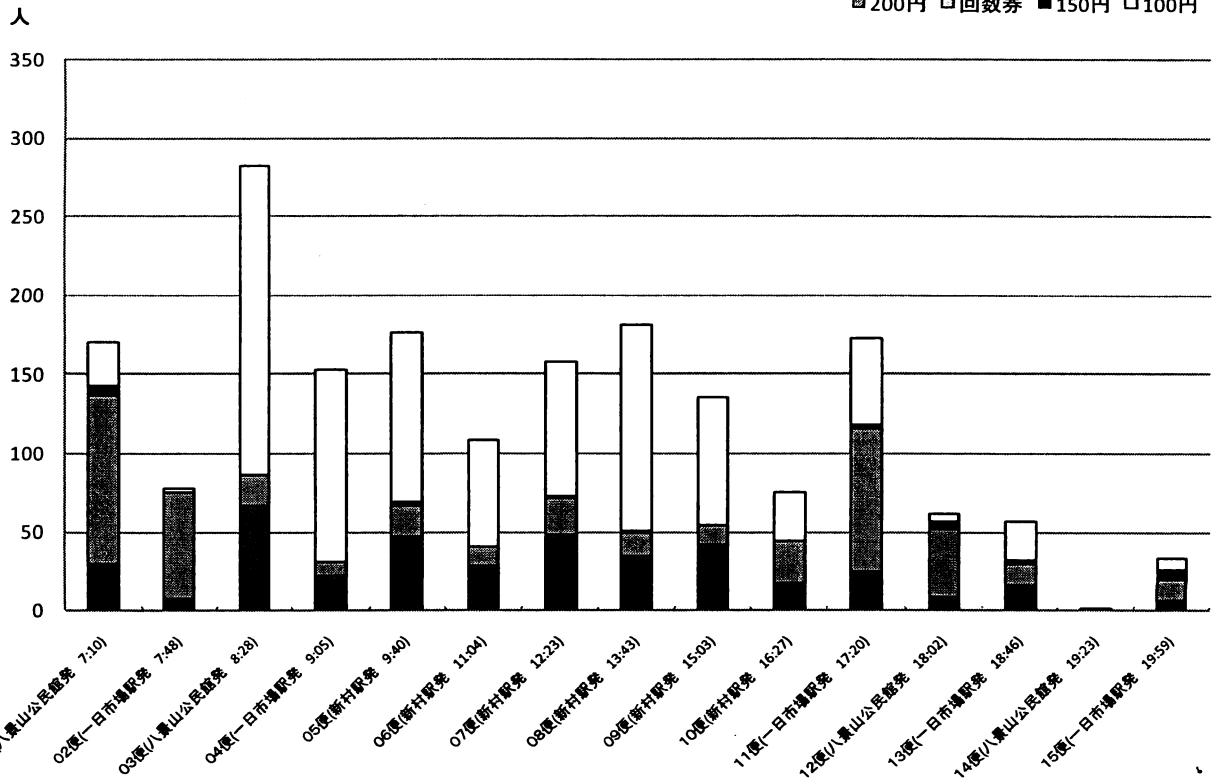
新村・村井線D線 停留所別乗降者数

■ 200円 □回数券 ■ 150円 □ 100円

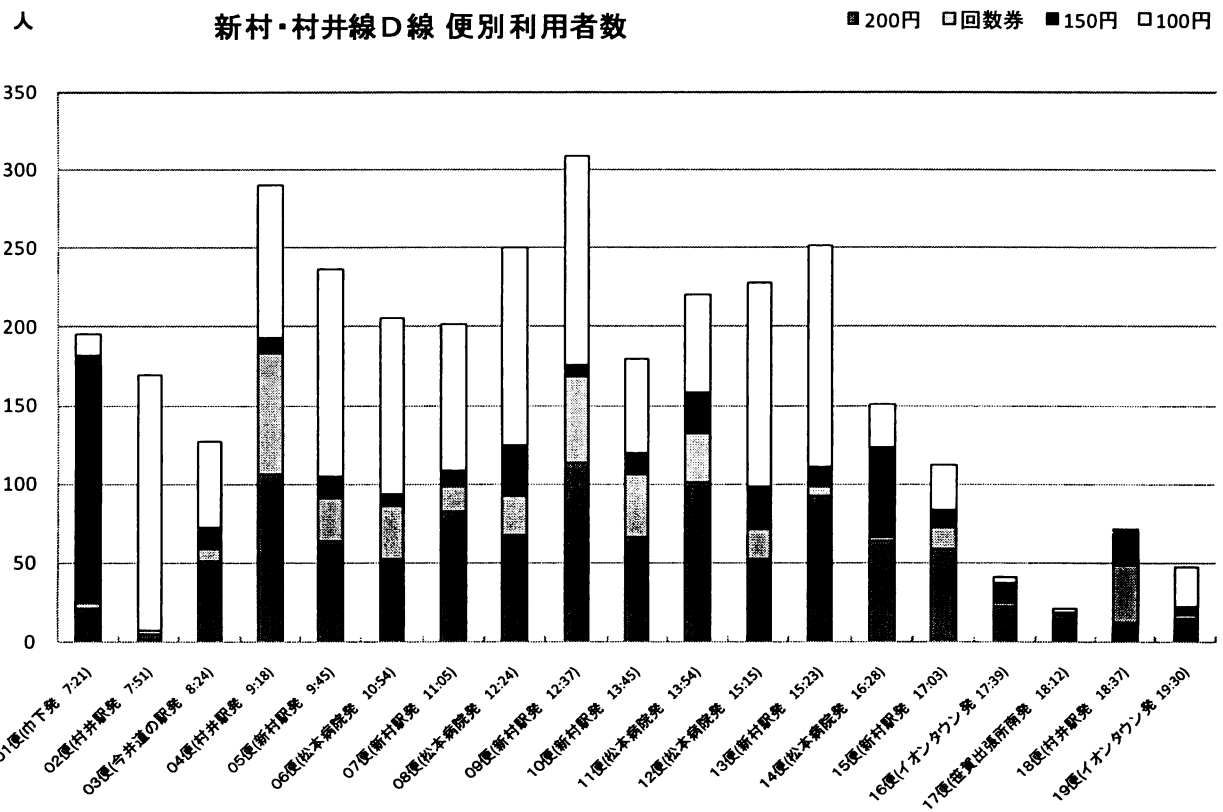




梓川線C線 便別利用者数(スクールを除く)



新村・村井線D線 便別利用者数



第5回住民意見交換会の開催結果について

1 意見交換会の日程

開催日時	開催地区	開催場所	参加者数
11月11日(木) 14:40~15:40	神林地区	神林公民館	36名
11月12日(金) 11:00~12:10	島内地区	島内福祉ひろば	45名
11月15日(月) 14:00~15:00	芳川地区	芳川公民館	4名
11月15日(月) 19:00~20:15	笹賀地区	笹賀公民館	10名
11月16日(火) 18:30~20:00	島立地区	島立公民館	8名
11月16日(火) 19:00~20:00	新村地区	新村公民館	16名
11月18日(木) 19:00~20:00	和田地区	和田公民館	10名
11月25日(木) 19:00~20:10	梓川地区	梓川支所大会議室	39名
11月26日(金) 19:00~19:50	今井地区	今井農村環境改善センター	7名

(計 175名)

2 意見交換会で出された主な意見

	主な意見等	回答
神林地区	<p>○川東地区から出張所までは15分かかかる。利用を増やすとなれば、出張所停留所から北荒井停留所へ行くのではなく、川東地区へ延長したルートをお願いしたい。</p> <p>○平田駅停留所から平田駅までの距離があるため、時間によっては、電車との接続が厳しいダイヤがある。</p> <p>○B線の何本かを新村駅へ行くのではなく、アイシティ等へ行く直行便をつくれぬか。</p> <p>○コミュニティということであれば、神林地区を一回りするバスだって考えられるのでは。</p>	<p>⇒ ルートを延長すると、どこかを間引くことが必要になる。運行時間も数分今まで以上に要することから、ルート全体の停留所設置場所の再検討や接続等にも影響を及ぼすため、今回の実証運行の結果をみて、検討していきたい。</p> <p>⇒ アンケート調査によって、接続までの時間がどのくらい必要か意見集約をして検討していきたい。</p> <p>⇒ B線とD線が絡む。前回のルートでは和田出張所においてB線とD線を接続していたが、まったく利用なかった。</p> <p>⇒ コミバスのルートを決めていく上で、一つの地域をということではなく、西部地域の交通空白をどうしていくかという視点で考えている。コミバスのルートとしては、行きたいところへ直接行けるというルートは難しいので、不便でもJRを使い、そのあと乗り換えて目的地へ行っていただくということをお願いしたい。</p>
島内地区	<p>○日曜と祭日の運行を検討して欲しい。</p> <p>○ラーラ松本の最終便の時間が早くなってしまい使いにくくなってしまったのでもう少し</p>	<p>⇒ 日曜、祭日の運行について、土曜日の利用率をみると平日に比べ利用率が低い状況。今後の課題としたい。</p> <p>⇒ ラーラ最終便に関しては改定前の利用率がとて少なかつた経緯がある。ただし、実証運行中</p>

	<p>遅い時間を設定できないか。</p> <p>○市街地でイベントがあると車で出かけることが大変な為、日曜日に運行して欲しい。そうでなければ、イベントに併せて臨時便があってもいいのではないか。</p> <p>○現状のタクシー型の車両だとステップが高く年寄りが乗りにくいのではないかと感じる。</p>	<p>なので今後検討して行きたい。</p> <p>⇒ 以前クラフトに併せ運行したが、周知不足もあったと思われるが、利用率が少なかった経緯がある。今後検討したい。</p> <p>⇒ 運転手に声を掛けてもらえば乗降を手伝う。</p>
<p>芳川地区</p>	<p>○D線全体の利用者数は数値でわかるが、村井から新村へ行く路線、新村から村井へ行く路線等双方の利用者数について、どのように乗降しているのかが不明確である。</p> <p>○村井駅から寿台へのバスや松本病院を通るバスなどがあり交通の便は良い。また、JRもあり、不自由していない。東西の公共交通の便があまり良くない程度との認識があるが、特に困っていない。</p> <p>○コミバスについて、高齢者が一番浸透していない。利用者を増やすには、高齢者に対して、もっと周知をしていく必要がある。また、芳川地区全体ではなく、個別の町会にもコミバスについての説明会を開催してほしい。</p>	<p>⇒ 傾向としては、村井地区と菅野地区は、村井駅の利用が多い。アイシティへの利用者は、全体的に多く、特に村井駅から乗降している人が多い。</p> <p>⇒ <u>福祉ひろばでの催し等にも参加して周知できればと考える。また、各町会から要望があれば、説明に伺いたい。</u></p>
<p>笹賀地区</p>	<p>○D線が増えた理由は何かあるのか。</p> <p>○便数の事だが、あまり乗っていない場所については便数を減らして車の廻し方を細かくしてみたらどうか。</p> <p>○駅と駅を繋げることも大事だと思うが、コミュニティバスの目的は高齢者等交通の足の無い人のための物ではないのか。</p> <p>○今村は切り捨てられている気がするが、一日何便か地区の中を通してほしい。年寄りが買い物に行けなくて困っている。都合がいいところだけ拾って、都合が悪いところは拾わないでは困る。検討して欲しい。</p>	<p>⇒ 始発の7時21分に通勤・通学が毎日使うので利用が伸びた。また、今井小学校の近くに養護学校がありその生徒が村井駅から使っていることも増えた原因だと思う。今、乗降客に聴き取り調査を行っている。1月か2月予定の意見交換会に詳細について報告したい。</p> <p>⇒ 実証実験中ということで、どこの時間帯の利用が多い等確認しているところ。本格運行になれば使う所だけ残すかたちとなる。</p> <p>⇒ 2つの目的、通院・買物、通勤・通学の需用がある。高校生、高齢者等だけの利用では維持できない。普段車を使っている人も一緒になって使っていただき収支率を上げたい。</p> <p>⇒ 今後検討はするが、コミュニティバスの運行は一定の需要のある所を走らせるということ考えている。今村地区は移動需用が少なくコミュニティバスを通すことは難しい。地域主体で交通を考える場合に補助を出す制度もあるのでその中で考えていただくことはできないか。</p>

<p>島立地区</p>	<p>○出張所付近が交通空白地となっている。地区の実情を把握するために調査を実施したいので協力をお願いしたい。</p> <p>○旧山形線のコースを運行してもらいたい。</p> <p>○自転車にも乗れないような人にこそ公共交通が必要ではないか。</p> <p>○地区児童の一部が田川小学校に通っていることで、地区行事等で一体感が損なわれている面がある。A線の朝の利用が少ないならば、その分を堀米方面から島立小学校へのスクールバスとして利用するよう変更はできないか。</p> <p>○一の瀬病院では利用者に対してアンケート調査を実施したところ、多くの患者さんがバス利用を希望された。駅利用の高齢者も多数いるので、ルート設定について、検討をお願いしたい。(一の瀬病院)</p> <p>○他地区との人口で比較すれば、今のルートは島立地区に重きがないようにも見える。新村地区のように、交通のハブとなるよう考えてもらいたい。</p>	<p>⇒ 今年度より実施した、地域が主体となって行う利用促進のための活動に係る助成制度を活用してはどうか。調査項目については、市やSCOPでも協力したい。</p> <p>⇒ 移動の需要を見る中で、地区の南側の人が大庭駅を利用して市街地に行くかということ。</p> <p>⇒ ある程度の体力がないと、かえって公共交通を利用することは難しい。動くことが困難な方については、福祉の観点からの対応が必要となる。</p> <p>⇒ <u>A線については、島内小学校へのスクール利用についての相談もあった。学校長の判断が大きいので、学校教育課に話をつなぐこととした。</u></p> <p>⇒ アンケートの調査結果を提供いただき、検証したい。</p> <p>⇒ 島立地区を軽視しているということはない。</p>
<p>新村地区</p>	<p>○ダイヤの改正後利用する人が増えたと感じる。例えば今後の利用目的として山雅の試合があるときにはアルウィンまで運行する等の対応も考えてもいいのではないか。</p> <p>○時間によっては新村駅に4路線同時に集まる。駐車スペースに他の車が駐車して運行事業者が困っていることが時折見受けられる。駐車場の環境整備はできないか。また、冬はバスを待つ場所がとても寒い。</p> <p>○A線の利用範囲に住んでいるがアイシティーに行くとなると往復800円掛かる。昼間の便だけでもA線でアイシティーに行けるようにしてほしい。</p>	<p>⇒ 山雅については交通手段が無いと言われていた。別の課題として検討する必要がある。</p> <p>⇒ <u>今回4線を接続した。乗継がどの位あるか調べている。また、駐車場の環境整備については今後検討していきたい。待合場所については松電に承諾を得ているので周知を図りたい。</u></p> <p>⇒ 1乗車200円は松電に比べると安いので乗継割引は見送った。その代わり回数券を出している。収支率についても10%に満たない状況。運賃については今後運賃体系の検討を行いたい。</p>

	<p>○今まで地域にコミュニティバスのようなものがなかった。田舎の人は新しいものに飛びつきにくい。長期的にいろいろ模索しながら地域と一緒にいいものにして行きたい。</p>	
和田地区	<p>○今のルートは乗らない場所を走らせているように見える。</p> <p>○市街地に向かう路線でないと利用は増えない。波田病院に直接向かうようになれば変わるのではないか。</p> <p>○福祉ひろばのサークル活動に参加する人のために、地区内を循環するルートを設定してもらいたい。</p> <p>○出張所を待合場所になるようにしてもらいたい。他人と同乗することに抵抗がある人もいるようなので、空間に余裕のある車両選定を考慮してもらいたい。</p> <p>○飲み会の時などにも利用しやすいようなダイヤの設定をお願いしたい。</p> <p>○B線とD線を結べば利用が伸びるのではないか。</p>	<p>⇒ コミュニティバスは既存の公共交通機関を最大限活用するためにルート等を設定している。</p> <p>⇒ 波田地区については、今後検討していく予定。</p> <p>⇒ 市には補助制度もあるので、地域でも活動をお願いしたい。</p> <p>⇒ 去年は出張所を結節点としたが、利用が見られなかった。車両については、現行の制度では難しい。</p> <p>⇒ 新村駅で全線乗り継ぎができるようになっていく。</p>
梓川地区	<p>○八景山地区へ昼間の便の運行をお願いしたい。変更はできないか。</p> <p>○現在のコミバスの状況は、空で走っているのだから、コミバスを知ってもらうためにタダで乗車してもらえばどうか。まずは路線を知ってもらうこと、利用してもらう人を増やすことが大切だと思う。</p> <p>○コミバスのダイヤの時間短縮を考えてもらわないと、電車に間に合わない。先日公共交通を考える会でコミバスに乗車したが、電車の接続に遅れてしまった。</p> <p>○地区の人が考えたルートだということだが、どのように決めたのか。</p>	<p>⇒ 意見、要望として伺う。継続することも必要であるため、現行のダイヤ・ルートをすぐに変更することは難しい。</p> <p>⇒ 適正な運賃での運行を行う。</p> <p>⇒ 7便に乗車いただいたと思うが、新村駅での上高地線接続が4分。状況を検討する。</p> <p>⇒ 梓川地区町会連合会が実施した全戸アンケート調査を検討するために、梓川地区の公共交通を考える会を立ち上げ検討した。前のルートは、カインズホーム梓川店から梓川地区内、アイシティというルートであった。それでは山沿いの人に乗れないということで、今回のルートとなっている。実証運行であるので利用が少ないとなれば見直しとなる。</p>
今井地区	<p>○養護学校の生徒は、現在村井駅から4人程利用しているが、新村駅発の便</p>	<p>⇒ ご要望として伺いますが、今後、波田、奈川、安曇も含め、もう少し大きなエリアの中での</p>

	<p>も、もう少し早い時間のものがあればありがたい。</p> <p>○上高地線で松本に出て、そこから空港朝日線で登校している生徒が2、3人いるが、時間がかかるし乗り換えが難しい。バスの時間が早くなれば新村駅で下りて登校できるのではないか。</p>	<p>検討になると思う。</p> <p>⇒ 既存の交通手段と空港朝日線との競合は避けたいと思う。交通手段に選択肢があることはよいと思うが、まずは交通手段を確保できていることが最低限必要なこと。</p> <p>波田は、今回コミュニティバス方式でやりたいということで9地区寄りのエリアとして考えていきたい。奈川、安曇は、既存のものを含め効率化していく方針である。</p>
--	---	---

西部地域公共交通総合連携計画変更（案）について

1 趣旨

西部地域公共交通総合連携計画に安曇・奈川・波田地区を加え、見直しを行うもの。

2 経過

20. 3. 24 検討委員会が「松本市地域新交通システムへの提言」を市長へ提言
 21. 3. 24 松本市西部地域公共交通総合連携計画（3カ年計画）（以下「連携計画」という。）を策定
 8. 3 西部地域公共交通協議会（以下「交通協議会」という。）において4ルートによる実証運行を開始
 22. 5. 27 第11回交通協議会において連携計画の見直しについて協議
 6. 25 第12回交通協議会において安曇・奈川・波田地区住民移動実態調査の実施について協議
 7. 15 第13回交通協議会において安曇・奈川・波田地区住民移動実態調査（案）について協議
 7. 30～8. 31 安曇・奈川・波田地区において住民移動実態調査を実施
 11. 1 第14回交通協議会において安曇・奈川・波田地区住民移動実態調査結果及び今後の進め方について協議

2 主な変更点

(1) 新たに追加した項目

ア 地域概要及び移動実態調査等基礎調査に係る項目

項目	内容
① 地域概況 (P5～)	・地域の特性、人口分布、公共交通の現況、松電上高地線の利用状況、交通空白地帯の実態等
② 安曇地区、奈川地区、波田地区の住民の移動実態 (P26～)	・交通不便者の分布、移動先、移動目的 ・上高地線に係る認識、考え方等
③ 実証運行経過の整理 (P49～)	・実証運行の結果と改善方針、利用状況等

イ 連携計画に係る項目

項目	内容
① 基幹的公共交通に対する考え方 (P54～)	・基幹的公共交通として松本電鉄上高地線を位置づけ、整備と利用促進を積極的に推進
② 公共交通の維持に関する標準的な考え方 (P56～)	・公共交通の維持に対する交通事業者、市民、行政が担うべき役割を明示
③ 計画の目標 (P57～)	・上高地線の維持に関する取組みの実施と利用促進 ・移動需要が少ない地域に対する取組みと支援 ・公共交通の積極的な利用

④ 実施 する 事業	コミュニティバスの実証運行 及びそれに伴う事業 (P60～)	・車両購入、バス停の整備等運行に係るハード整備 ・最終的な目標値は収支率30%以上とし、当面の目標値は1便当たりの利用人数等を都度設定
	松電上高地線の維持・活性化 に伴う事業 (P62)	・老朽化が進む上高地線のハード整備及び駅舎の改良 やパークアンドライド駐車場等の整備
	稲核線、乗鞍線の改善に向けた 事業 (P65)	・民間交通事業者と運行形態や方法を協議、調整し、 既存公共交通ネットワークの構築に向けた必要な支援
	市営バス奈川線の改善と運 行に伴う事業 (P65～)	・交通空白地帯の状況を踏まえたうえで、松電上高地 線をはじめとする既存公共交通への接続を確保
	公共交通利用促進のための 事業 (P66～)	・バスのラッピングや車両からの音楽放送 ・利用者にインセンティブを与える事業の実施

(2) 変更した項目

ア 計画区域 (P57)

変更前	変更後	理由
松本市西部地域(島内、 島立、新村、和田、神林、 笹賀、芳川、今井、梓川 の9地区)、安曇野市三 郷地区、山形村下竹田地 区	松本市西部地域(島内、 島立、新村、和田、神林、 笹賀、芳川、今井、梓川 の9地区に安曇地区、奈 川地区及び波田地区を 加えた区域)、田川地区、 安曇野市三郷地区及び 豊科地区、山形村全域	・田川地区:松本電鉄上高地線を連携 計画に位置づけることから松本駅ま で区域に設定 ・安曇、奈川及び波田地区:連携計画 に3地区を加える ・安曇野市豊科地区:JR大糸線梓橋 駅への結節を検討可能とするため ・山形村:山形村への乗入れを検討

イ 計画期間 (P68)

変更前	変更後	理由
平成21年4月～ 平成24年3月	平成21年4月～ 平成32年3月	・松本電鉄上高地線の維持・活性化に 関する事業の事業予定に合わせ変更

※これに併せスケジュールも変更

(3) 削除した項目

試験運行にかかわる結果 (P44, 48)

3 今後の進め方

松本市西部地域総合連携計画変更(案)に対して、広く市民から意見・情報を募集するためパブリックコメントを実施します。

(1) パブリックコメントの概要

ア 公表する資料

松本市西部地域公共交通総合連携計画変更(案)

イ 意見の募集期間

平成22年12月25日(土)～平成23年1月24日(月)(1ヶ月)

ウ 実施方法

松本市パブリックコメント手続要綱による

エ その他

パブリックコメント実施中に、波田、奈川、安曇地区において、意見交換会を開催し、直接住民から意見を聞く機会を設けます。

(2) スケジュール

12月	22日 25日	第15回松本市西部地域公共交通協議会 パブリックコメント開始（1月24日まで）
1月	中旬 24日 下旬	波田、奈川、安曇地区において、パブリックコメントに係る意見交換会を実施 パブリックコメント終了 パブリックコメント結果公表
2月	上旬 中旬	第16回松本市西部地域公共交通協議会 連携計画の策定

J R大系線ダイヤ改正に伴う対応について

1 趣旨

12月4日のJ R大系線ダイヤ改正に伴い、西部地域コミュニティバスの乗り継ぎへ影響が生じたことから、下記のとおり対応したものです。

2 対応内容

(1) 島内・新村線A線

J R大系線ダイヤ改正内容等	対応内容	理由
松本駅発有明行き 改正前 島内駅着 19:47 改正後 島内駅着 19:53 ↓ 島内駅発 19:50 のコミバスに間に合わない	島内駅着 19時53分の電車と接続をとってコミバスを出発。(ダイヤ改正は行わない)	A線の最終便であり、他の便への影響も出ないため、運用の中で対応を実施。なお、コミバスの遅れについては、その後の運行の中で吸収が可能と思われる。

(2) 梓川C線

J R大系線ダイヤ改正内容等	対応内容	理由
松本駅発有明行き 改正前 一日市場着 19:54 改正後 一日市場着 20:00 ↓ 一日市場発 19:59 のコミバスに間に合わない	一日市場着 20時の電車と接続をとってコミバスを出発。(ダイヤ改正は行わない)	C線の最終便であり、他の便への影響も出ないため、運用の中で対応を実施。なお、コミバスの遅れについては、その後の運行の中で吸収が可能と思われる。

3 対応実施日

12月4日(土)

4 対応周知の方法

- (1) 関係するバス停及び車内へお知らせを掲示
- (2) 松本市公式ホームページへ掲載
- (3) 島内地区及び島立地区については、各町会長会の時に出張所長から説明
- (4) 梓川地区については、防災行政無線による周知

5 時刻表への対応について

時刻表については、周知等により対応し訂正は行わない。

6 その他

鉄道のダイヤ改正、道路工事等、コミュニティバスの運行に影響があるものについては、できるだけ早い情報の提供をお願いいたします